

「鉄器時代はいつから始まったか —アナトリアの発掘現場から」

大村幸弘氏

(中近東文化センター附属
アナトリア考古学研究所所長)



略歴 1946年、岩手県、盛岡市に生まれる。早稲田大学第一文学部卒、アンカラ大学言語・歴史・地理学部中近東考古学科博士課程修了。文学博士。(公財)中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所所長、カマン・カレホユック発掘調査隊長。

主著 「鉄を生みだした帝国—ヒッタイト発掘」、「アナトリア発掘記」(日本放送出版協会)、「ヒッタイトに魅せられて」(山川出版共著)など。



古代中近東世界では鉄器時代は、前12世紀、ちょうど後期青銅器時代の末期、アナトリアではヒッタイト帝国が終焉を迎えたと同時に始まったと言われています。アナトリア考古学研究所はトルコのほぼ中央部に位置しているカマン・カレホユック遺跡で、1986年以来、考古学の発掘調査を行っています。発掘調査を通して明確に言えることは、後期青銅器時代の末期から初期鉄器時代にかけて急激に鉄製品の出土数が増加する

ということです。このことから、鉄器時代の開始時期を前12世紀初頭と通説はある程度信憑性の高いものと思われま。ただ、これまでのカマン・カレホユックの発掘調査では、鉄製品の出土は何も初期鉄器時代からでなく、後期青銅器時代あるいは中期青銅器時代、さらに前3千年紀の前期青銅器時代の層位からも一定の鉄製品、鉄滓が出土しています。これまでの通説とは齟齬が出てきています。ここでは通説を踏まえた上で、アナトリアの考古学現場を通して実際のところ鉄器時代はいつから始まったのかについて一つの推論をお話しできればと思います。



(カマン・カレホユック遺跡)

日時：2023年6月17日(土) 午後2時~4時

会場：お茶の水クリスチャンセンター (OCCビル) 411号

ZOOM：6月10日(土)までにグーグル・フォームからお申込みください。

申込みのためのQRコードはホームページの「お知らせ：講演会・セミナー案内」にもあります。



参加費：無料(席上献金があります)

東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル503

一般社団法人 聖書考古学資料館

Tokyo Museum of Biblical Archaeology 【TMBA】

ホームページ：<https://tmba-museum.jp>

郵便振替：00190-5-595820 名義：一般社団法人聖書考古学資料館

銀行口座：みずほ銀行 浜田山支店(普)1911861 名義：同上

PayPal：<https://tmba-museum.jp/offering/>

